

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	リーディング3	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。CD、DVD等随時使用。				
担当教員情報					
担当教員	早川		実務経験の有無・職種	有・プロミュージシャン	
学習目的					
プロの現場では読譜が出来るだけでは仕事の半分も適わず、その他たくさんの「現場必須項目」がある事を理解する。この授業では、一般的な読譜に加えプロならではの譜面の書き方はもちろんのこと、現場では当たり前の壁コンセントの極性といった簡単なことから、アース（グラウンド）、ヘルツ、位相、信号の波形とノイズの関係（バランス、アンバランス）、各楽器の特徴及び簡単な扱い方、アマチュアの方が「やっぱりプロはすごい!」と憧れるような良い音の作り方までの習得を目的とする。					
到達目標					
個人的にいくら練習を積んで各パートのプレイテクニックが高くなろうとも、「プロ」の現場ではそれ以外に知っていなければならないこと、出来ていなければならないことが山ほどある。ただ弾けるだけでは不十分なので、次のような事を習得する。1、読譜が出来る。2、ライブステージにおいて必要な電気知識を習得する事ができる。3、音は空気振動なので振動に関する周波数（ヘルツ）等、2年次なので応用知識を習得する事ができる。					
教育方法等					
授業概要	譜面が読めて普通にプレイ出来る…に留まらず、昨今のライブ、コンサート等で不可欠な「電気」についての基礎知識…家庭用コンセント1口には約100V/15Aという電気が来ている…という初歩的なことから、これはあくまで「約100V」であって、周りの電気使用状況によってそれは変化し、場合によってはノイズというものを生み出す汚れを生じる…等を知り、お客さんがより満足して帰っていただけるように、一つでも邪魔な要素は排除し良い要素に変えていく感性を専門的に深く身につけていく。				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動きや最先端技術等について概説するので、自分でも情報を収集し、知識の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	提出物	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	音部記号（1）		小ヴァイオリン記号。100V(電圧)で15A(電流)の電気の熱量は1500Wの計算式を理解する。		
2回	音部記号（2）		ヴァイオリン記号。ボーカルに適したマイクの種類を理解する。		
3回	音部記号（3）		ソプラノ記号。ドラム各パーツに適したマイクの種類を理解する。(1)		
4回	音部記号（4）		メゾソプラノ記号。ドラム各パーツに適したマイクの種類を理解する。(2)		
5回	音部記号（5）		テノール記号。ギターアンプに適したマイクの種類を理解する。		
6回	音部記号（6）		バス記号。ベースアンプに適したマイクの種類を理解する。		
7回	音部記号（7）		低バス記号。ヘルツと位相について理解する。		
8回	スコア譜（1）		オーケストラ用スコア譜。多数のマイクを立てる事による位相のズレを理解する。		
9回	スコア譜（2）		バンド用スコア譜。インピーダンス、D.I.を理解する。		
10回	音階（1）		チャーチモードスケール前半。真空管について理解する。(1)		
11回	音階（2）		チャーチモードスケール後半。真空管について理解する。(2)		
12回	音階（3）		ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケール。ボーカルの録音の仕方を理解する。		
13回	音階（4）		オルタードスケール、リディアン♭7スケール。ドラムの録音の仕方を理解する。		
14回	テンション（1）		ナチュラルテンション。ギターアンプの録音の仕方を理解する。		
15回	まとめ		全体のまとめ		